



INDEX
▼子育てNews
▼相談・休日診療
▼連載
▼みんなのひろば・図書館だより・フォトニュース

- 1 「石ころ持って来たよ！先生見て見て！！」学年を問わずたくさん子どもたちがやってきます。
- 2~3 持ってきた石ころを古谷先生に見てもらいます！「この石はチャートという種類。ここに放射虫(化石)がいるよ！」と教えてもらいました。持ってきた石には石の名前や説明が書いてあるラベルを付けてもらえます！
- 4~8 石ころ研究室だけでなく、授業も(取材当時3年生)。「こっちは石はつるつるしていて叩くと高い音が出るね」「もう一つの石はごつごつしているから低い音が出るのかな？」観察してみると発見があって面白い！



まちなか石ころ研究会代表/県立人と自然の博物館名誉研究員
古谷 裕さん

どこにでもある石ころですが、長い長い歴史をたどり、地域の成り立ちに関わっていることを知ってもらえたら、「石ころ研究室」を提案しました。石は苦手な子が少なく、小学生が自分で手に入れられるため、地学を学ぶ中で「自分ごと」にできる良い教材だと思っています。「石ころ研究室に来るために」とわざわざ石を拾ってくる子どもたちの姿が嬉しいですね。



▲市HP(弥生小学校の余裕教室が子どもたちの地学教育の活動拠点に)

「石ころ」は宝物！



神戸電鉄公園都市線(横山ーフラワータウン間)が開通した平成3年。フラワータウンにある4つの小学校のうち最後に開校したのが弥生小学校。ピーク時798人だった児童数は、令和3年度には132人に。クラス数も26から7に減少。それに伴い増えた余裕教室を活用したのが、「地域イニシアチブ制度」。市内で初めて弥生小学校で取り組まれています。

その名も「石ころ研究室」！身近にたくさんある石ころを題材に子どもたちの地学の学びの場として活用されています。「石ころ研究室」を訪れた皆さんに自慢を聞きました。

発見の連続！石ころってすごい

中休みと昼休みにだけ開かれる「石ころ研究室」が自慢です！多い日は50人ほどがやってきます。「黒い石の中にピカピカ光るものがあるよ！これって何の石？」家の近所や学校内、休日に出かけた先などさまざまな場所で拾ってきた石ころを見せると、古谷先生はいつも1対1で教えてくれます。デジタルマイクロスコープで拡大して見ると、化石を見つける時もあり、発見の連続です。持ってきた石にはラベルを付けてくれるので、自分の拾ってきた石がここに来ると宝物に――

石は全部一緒だと思っていなければ、いろいろな種類があって、「場所が違えばそこにある石も違う」ということが分かりました。自分の拾った石のでき方がわかったり、新しいことを学び、発見するのが楽しくてみんな何度も来ています。「この石はどんな歴史をたどってきたのかな」「石によってどんな違いがあるんだろう」ぼくたちの石ころ研究はこれからも続きます！

*廃止になった公共施設や学校の余裕教室などを地域の課題解決や活性化のために自らが主体となって活用することを提案できる制度

＜ エスティー・ジーズ S D G s ＞



未来へSDGsの種をまこう！
「こんなところにSDGs」



■ だれもが働きやすい職場づくりを市役所から

職場で、こんな話を聞いたことはありませんか？



性別に関わらず仕事も私生活も充実できる柔軟な働き方が求められています。市役所ではだれもが働き続けられる、働きやすい職場環境づくりを目指して「はるもにあ(※)(第4期三田市特定事業主行動計画)」を4月に策定しました。市役所が率先して、男性職員の育児休業取得の推進などに取り組むことで、だれもが働きやすい職場が市内に増えていくことを目指します。

(※)フィンランド語で「調和」を意味します
問い合わせ = 政策課 (559-5038 FAX 563-1366)



＜ 共生 ＞



「きこえるってどんなこと？」
きこえない人・きこえにくい人を知る

きこえない人・きこえにくい人にとって、相手の表情やうなずき、口の形などは大切な情報です。しかし、コロナ禍で常にマスクを着けているため、口元や表情が見えず、きこえない人・きこえにくい人が困ってしまう場合があります。その人に合ったコミュニケーション方法を使うなど、少しの工夫で分かりやすくなります。

■ 話しかける時のポイント

- ・合図をする(手を振る、肩に軽く触れるなど)
- ・可能であれば相手に口元を見せながらゆっくり話す(口を大きく開ける必要はないですが、早口は分かりません)
- ・話した後は、「伝わったかな？」と相手に確認する「伝わっていないかな？」と思ったら、身振りや筆談など工夫をして相手に伝わるまで伝えましょう。

■ 「1時」「2時」「7時」うまく伝えられますか？

声に出さずに言ってみると「いちじ」「にじ」「しちじ」。口の形はどうでしたか？同じでしたよね。口の形だけでは分かりづらい言葉は身振りや筆談など工夫を。
問い合わせ = 障害福祉課 (559-5075 FAX 562-1294)



＜ 消費生活情報 ＞



「契約してない」「解約したはず」サブスク*の請求トラブルにご注意！

■ 実際にあったトラブル内容

プリンターに不具合があり、解決方法を調べるためメーカー名をネット検索した。「トライアル500円で解決」との表示画面にクレジットカード情報を入れ、質問をした。後日、知らない業者から約5,000円の請求があり、カード会社に問い合わせると有料質問サイトの会員登録料だった。

【アドバイス】

- ①申し込む前に、契約先の業者名、契約条件を確認しましょう。
- ②「トライアル」や「無料体験」の表示をきっかけにサブスクを申し込む際は、解約方法・時期を確認し、登録情報を記録しましょう。
- ③利用していないサブスクの支払いがないかクレジットカードなどの明細は毎月確認しましょう。

*「サブスクリプション(サブスク)」とは、料金を支払うことで、商品・サービスを一定期間利用できるサービスのことです。

三田市消費生活センター(559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜～金曜、第2・4土曜 10時～17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188番(いやや!)

＜ 消防・救急・救命 ＞



住宅用火災警報器の設置状況調査を実施します(5月中旬)

市内全域を対象として無作為抽出したお宅に住宅用火災警報器の設置調査を実施します。アンケートを郵送しますのでご協力をお願いします。また、消防署から直接お宅に伺う場合もありますが、インターホン越しで構いませんのでアンケートにご協力をお願いします。



■ 悪質な訪問販売にご注意を！

被害に合わないために下記の3つに注意しましょう。

- ①消防本部・消防署では住宅用火災警報器の調査訪問はしますが、消火器や住宅用火災警報器の販売や点検は一切行っていません。消防職員などを名乗る者が訪ねてきたら、身分を証明するものを見せてもらいましょう。
- ②一般家庭に消火器の設置義務、点検する義務はありません。
- ③料金をその場で支払ったり、契約書にハンコを押したりしないでください。

問い合わせ = 消防本部予防課 (564-7308 FAX 563-1230)